

平成20年 第12回
教育委員会定例会会議録

平成20年12月9日（火）

港区教育委員会

港区教育委員会会議録

第2271号

平成20年第12回定例会

日 時 平成20年12月9日（火） 午後4時07分 開会

場 所 教育委員会室

「出席委員」	委 員 長	澤 孝一郎
	委 員	南 條 弘 至
	委 員	半 田 吉 恵
	委 員	小 島 洋 祐
	教 育 長	高 橋 良 祐

「説明のため出席した事務局職員」	次 長	川 畑 青 史
	参 事	山 本 修
	学校施設計画担当課長	野 澤 靖 弘
	学 務 課 長	安 部 典 子
	生涯学習推進課長	佐 藤 國 治
	図書・文化財課長	森 信 二
	指 導 室 長	加 藤 敦 彦

「書 記」	庶務課庶務係長	岡 田 圭 子
	庶務課庶務係	常 盤 茂

「議題等」

第1 審議事項

- 1 港区幼稚園教育職員の給与に関する条例施行規則の一部改正について
- 2 港区幼稚園教育職員の地域手当に関する規則の一部改正について
- 3 港区幼稚園教育職員の休職者給与支給に関する規則の一部改正について
- 4 港区立学校設置条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則について

第2 教育長報告事項

- 1 平成21年度港区立幼稚園園児募集結果について
- 2 社会教育委員の委嘱について
- 3 生涯学習推進課の11月事業実績と12月事業予定について
- 4 生涯学習推進課の各事業別利用状況について
- 5 図書館・郷土資料館の11月行事実績と12月行事予定について
- 6 12月指導室事業予定について

「開 会」

○澤委員長 それでは、平成20年第12回港区教育委員会定例会を開催させていただきます。

まず最初に、午後の前半、白金台幼稚園、高陵中学校、三田中学校の建設現場を見学させていただきましたので、本来、3時から開始の予定が4時におくれましてまことに申しわけございません。

(午後4時07分)

「会議録署名委員」

○澤委員長 それでは、早速日程に入ります。本日の署名委員は小島委員、よろしくお願いします。

第1 審議事項

1 港区幼稚園教育職員の給与に関する条例施行規則の一部改正について

○澤委員長 日程第1、審議事項でございます。議案第56号、港区幼稚園教育職員の給与に関する条例施行規則の一部改正、この件に関しましては、先日11月11日の第11回教育委員会定例会で山本参事の方から平成20年度特別区人事委員会勧告の概要の説明がありました。具体的に規則の改正案が今回資料1～3で示されております。山本参事、よろしくお願いいたします。

○庶務課長事務取扱 参事 それでは、日程1でございます。幼稚園教育職員の給与に関する条例施行規則の一部改正についてです。議案第56号をご覧くださいと思います。内容でございますけれども、現在、勤務時間は1週当たり40時間になっておりますけれども、これを38時間45分に改正されます。これに伴いまして、非常勤職員あるいは臨時職員等である育児短時間勤務、規定の時間に満たない職員の超過勤務の計算に対しての規定の改正でございます。次のページの新旧対照表をご覧くださいと思います。

区の正規の勤務時間は38時間45分となっておりますので、例えば再任用等で30時間勤務という場合につきましては超過勤務をした場合、38時間45分までは100分の100という支給割合の超過勤務が手当として支給されます。そして、正規の勤務時間の38時間45分を超えた場合においては100分の125が支給されますという内容を整理したものが第13条の2項でございます。

説明は以上でございます。

○澤委員長 ただいまの説明に対して、何かご質問等ございますか。

ということは、正規の時間までは正規の手当が支給ということなのですか。

○庶務課長事務取扱 参事 超過勤務というのは、通常は労働基準法では100分の125.25%の割増なのですが、基本のラインは38時間45分ですから、30時間勤務の職員の場合については38時間45分までの間は通常の基本給から単純に計算をして1時間単価を出す。38時間を超えると、それに対して25%増しになります。

○澤委員長 何かございますか。よろしゅうございますか。前回に出ておりますので。

それでは採決に入ります。議案第56号につきまして、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

○澤委員長 議案第56号については原案どおり可決することに決定いたしました。

2 港区幼稚園教育職員の地域手当に関する規則の一部改正について

○澤委員長 続きまして、審議事項の2番目、議案第57号、港区幼稚園教育職員の地域手当に関する規則の一部改正につきまして、同じく山本参事、よろしくお願いします。

○庶務課長事務取扱 参事 お手元の資料ナンバー2をご覧くださいと思います。議案第57号でございます。幼稚園教育職員の地域手当に関する規則の一部改正です。現在、地域手当につきましては100分の14.5を支給されておりますけれども、これを平成21年1月1日から人事委員会の勧告に従いまして100分の16に改める内容でございます。

説明は以上です。

○澤委員長 地域手当に関する改正ということで、質問は何かございますか。よろしゅうございますか。

それでは採決に入らせていただきます。議案第57号につきまして、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

○澤委員長 それでは、議案第57号につきましては原案どおり可決することに決定いたしました。

3 港区幼稚園教職員の休職者給与支給に関する規則の一部改正について

○澤委員長 続きまして3番目、議案第58号、港区幼稚園教育職員の休職者給与支給に関する規則の一部改正につきまして、同じく山本参事、お願いします。

○庶務課長事務取扱 参事 それでは、お手元の資料ナンバー3をご覧くださいと思います。議案第58号でございます。内容につきましては、現在、職員が病気等になりますとまず最初の半年間は「病気休暇」という形で100分の100、満額給与が支給されます。6カ月を過ぎると今度は「病気休職」という形で100分の80、8割が支給されることになります。現在この支給される期間が2年間でございますけれども、これが平成21年、来年4月1日からは1年に短縮されるという内容の規定の整備でございます。新旧対照表をご覧くださいと思います。上段が改正案、下段が現行でございます。付則ということで、この規則は平成21年4月1日から施行するものです。ただ2ということで、経過措置について規定を整備してございます。例えば、現在休職に入っている職員あるいは来年3月31日までに休職に入ってしまった職員は、4月1日から規則が施行されたとしても、なお従前の例によるということで2年間支給されます。来年4月1日以降に病気休業になったものにつきましては1年間ということで、年度をまたがって休業されている人につきましては引き続き従前の例による形の規定を整備した内容でございます。

説明は以上でございます。

○澤委員長 ただいまの説明につきまして、ご質問等ございますか。

○小島委員 2年間から1年間に短縮された件については、前にも説明があったと思うのですが、

根本的には何が変わってこうなったのですか。

○**庶務課長事務取扱 参事** 基本的には、やはり「ノーワーク、ノーペイ」の法則というのがございまして、仕事をしないというかできない状態で2年間給与が支給されるということに対する見直しでございます。

○**小島委員** これはこの規則の上位規定か何かが変わったのですか。それとも、この件だけについてこういう考え方を取り入れたのですか。

○**庶務課長事務取扱 参事** これは幼稚園教育職員の給与に関する条例がございまして、その中で規定を整備したものです。

○**澤委員長** これは小島委員が言われるように、今までそういう恩恵を受けていたものが、何か恩恵が削られるということですが、うちの幼稚園の先生だけではなくて、国全体がそういう方向ということですか。私も今までの経過がはっきりわかりません。

○**庶務課長事務取扱 参事** この規定の整備につきましては、幼稚園教育職員だけではなくて区長部局の職員を含めて総合的な調整でございます。また、特別区全体においても同様の改正をするものです。

○**澤委員長** ほかによろしゅうございますか。

それでは採決に入ります。議案第58号につきまして、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

○**澤委員長** それでは、議案第58号につきましても原案どおり可決することに決定いたしました。

4 港区立学校設置条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則について

○**澤委員長** 4番目でございます。議案第59号、港区立学校設置条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則。この件に関しましては10月28日の第8回教育委員会臨時会におきまして、平成20年度第4回港区議会定例会提出予定案件として、具体的には、本日見学いたしました白金台幼稚園の位置の変更ですが、学務課長から10月28日の臨時会において説明がありました。今回はこの施行期日を定める規則の審議になります。学務課長、よろしくお願いします。

○**学務課長** 港区立学校設置条例の一部改正条例が第4回定例会でご承認いただきました。それを受けまして白金台幼稚園の住所の位置が正式に認められ、その施行期日を定めるというのが本件の第59号になっています。施行期日につきましては2枚目をおめくりいただきまして、平成20年1月1日としたいと考えております。白金台園舎の竣工は12月19日を予定しておりますが、その後引っ越しを年内ぎりぎりでございますが、25日と26日の両日をかけて行いまして、新年から新しい園舎で保育を開始するという段取りで考えております。

以上でございます。

○**澤委員長** 本日、見学いたしました新しい白金台幼稚園、本当にすてきな園舎がいよいよ12月19日、学務課長の説明のように完成ということで、来年の1月からは先生も子どもたちも新しい園舎に行くということでございます。

ただいまの説明に対して、ご質問等ございますか。よろしゅうございますか。

それでは採決に入ります。議案第59号につきまして、原案どおり可決することにご異議ありませんか。

(異議なし)

○澤委員長 それでは、議案第59号につきまして、原案どおり可決することに決定いたしました。

第2 教育長報告事項

1 平成21年度港区立幼稚園園児募集結果について

○澤委員長 次に日程第2、教育長報告事項。最初が平成21年度港区立幼稚園園児募集結果につきまして、学務課長、よろしくお願いします。

○学務課長 資料ナンバー1になります。来年度4月入園の幼稚園の園児募集結果でございます。全体を見ていただきますと、抽せんになった園といたしますのは、網掛けをしているのが抽せんになりまして、白金台の3歳児57名いらっしゃいましたので抽せんとなっております。中之町でございますが、中之町の4歳児5名の定員に対して6名がいらっしゃいましたが、抽せんになるまでの間に1名辞退が生まれて、この希望人数が今5と変更しておりますので、今のところ全員入れる状況でございます。3歳児につきましては例年のように抽せんとなっております。にじのはしにつきましては、4歳児20名のところに22名いらっしゃいまして抽せん、3歳児につきましても20名のところに34名ということで抽せんとなっております。なお、にじのはしの4歳につきましては、今後は年度末に向けまして今の3歳児の中で転居を予定されていらっしゃる方もいらっしゃるようなこともありますので、状況を見ながらあきがあれば随時繰り上げていきたいと考えています。以上です。

○澤委員長 園児募集の結果でございますけれども、何かご質問等あるいはご意見等ございますか。

○小島委員 にじのはしの4歳児のお話で、年度末に向けて引っ越しする方とかその他いろいろ検討したいというお話なのですが、実際引っ越さないで22名のままとなった場合には抽せんはやはりするのですか。

○学務課長 抽せんはもう実施しまして、お入りになる20名の方は決まりまして、残りの2名は一応待ちの順位という形で待機中という形になっております。あと保育園の入園状況とも関連してくると思いますので、保育園も幼稚園も申し込まれる方が公立にはいらっしゃいまして、保育園が決まるのは大体2月ごろになりますので、そういったものの動きですとか今の3歳の園児の中ではかへの転園という部分もありますので、そういった動きもあるように聞いていますので、状況はよく見ていきたいなと思っております。

○小島委員 保育園の方に入るかもしれないとかいろいろあるようなのですが、例えば4月の開園する直前まで1人だけ入れない。どうしても入りたいといったような場合は、なんらかの救済的なことは考えられるのですか。

○学務課長 この地域はほかの地域と比べますと、交通の便が少し不便なところがございまして、4歳児でどこも行くところがないという状況はあまり好ましい状況ではないと思いますので、そう

なったときにはその時点で何らかの方法を考えなくてはいけないと思っております。

○小島委員 にじのはし幼稚園以外にあの地区には幼稚園はないですね。ぜひ、考えてあげたい。

○澤委員長 柔軟に対応できるのであれば対応してあげたいと思います。

○教育長 にじのはしは4歳児、5歳児も1クラス20名という定員ですけれども、ほかの幼稚園でも定員を上げて25名、あるいは50名と、25名を一つの単位としてやっている幼稚園もありますので、そういう意味ではそういう事情を考慮しながら4歳児を入れていく方向は園児の幸せにつながるだろうと思っていますので、なんらかの形で親御さんにも伝えられるといいと思います。

○澤委員長 学務課長、よろしくお願いします。

それと白金台、今日、すばらしい園舎めぐりをしたのですが、20名の定員に対して約3倍近く、学務課長、これももう抽せんは終わって、その20名は確定している。3年保育がスタートしてどの位の希望者があるのかどうか、少し心配な面もあったのですが、この数字を見ると潜在的な3年保育に対する要望はかなり強いということですね。私が今日の数字を見て、今まで4歳児で定員に満たない満たないと言っていたわけですが、もう4歳児で入る人数は決まっているのではないかと。だからそんなところに、例えば高輪の40なんて定員をつけたって40人もいないのではという気がします。もう3歳で私立に行ってしまうか保育園に行ってしまうか。だから、4歳まで待っていた子どもを入れるということで、今かなり4歳児の定員を設けているけれども、そんなにいないのではないかと。これを3年保育にすれば、例えば白金台幼稚園の場合も57名いるんだから、40名入れてあげればもう定員いっぱいになってしまうけれども、次の年の4歳児はそんなにいない。

なんか今まで、いかにも区立の幼稚園は4歳児の数字だけ見ていると、人気がないかのように我々も思ったんですが、もともと4歳児の母集団がそんなにいなかったのではないかと。私立の方のアンケートの中で、3年保育というのはどちらかというと2番目ぐらいの要望で、幼稚園の教育方針に賛同して私立に入れられたというのが第一なんです。たまたまアンケートではそういう数値が出ていますが、3年保育に対するニーズというのが一番大きいのかなというふうにもこの数値を見ると。だから、次長等がいろいろ尽力されて白金台、にじのはしということで、区の3年保育も広がってきましたけれども、さらに広げる必要があるのではないかと。

今まで4歳児の数字だけ見ると、いかにもふえていない、幼稚園の先生頑張れよ、もっと魅力あるといっても、母集団がいないのに頑張っては少しかわいそうです。今回の白金台の応募数値を見ると、3年保育に対する要望が確実にあるんだなと感じました。

○小島委員 幼稚園の3歳児のこの結果は興味深く私も見ていたのですが、中之町でもまだ20名のところに39名です。中之町はずっと前から行っているのですが、もう落ち着くのかなと思っていましたが、まだまだ20名の定員のところ39名というのは、やはり3年保育の要望が強いことだと思います。にじのはしも20名に対して34名、今回新しい白金台が20名に対して57名というこれだけの数字が出たということはやはり考えなくてはいけないと思います。

○澤委員長 確かに小島委員が言われているように、中之町の場合は、幼稚園には学区域はないの

ですけれども、地元の方ももちろん応募しているけれども地元以外の方も、だから白金台でもそうなんでしょうね、この57名というのは。かなり周辺から応募しているのかもしれないですね。中之町の場合は緩和されたのですか、倍率は。去年なんかに比べると。

○学務課長 去年は中之町50名。

○澤委員長 かなり多かったですね。

○学務課長 今年は少なくなったなという印象が少しあります。

○教育長 徐々に減っているんですけども。

○澤委員長 それがたまたまなのか。

○学務課長 たまたまなのかどうなのかよくわかりません。

○澤委員長 白金台ができたのでそっちの方に応募したのがどうかとか。

○小島委員 委員長がおっしゃったように3年保育について教育委員会としてさらに考えていかなければいけないのではないかと。ただ、私立の立場もあるので大変難しいが、教育長、次長等が頑張ってここまで来ましたが、もう少し区民、保護者のニーズというものを教育委員会として取り上げなくてはいけないのかなという感じはします、この数字を見ると。

○澤委員長 私も改めてそう思いました。4歳まで待っていただいた方はほとんど区立に来ていただける。だけれども、4歳児の定員がばかに多いからいかにも定員の半分ぐらいしかいないと、数字だけ見ると人気がないかのように、見えてしまうんですけども、そんなことはないのではないかなと思う。

○小島委員 3年保育の支援をもう少し強め、また20名という定員がこれでいいのかとか、いろいろ根本的にもう一度考えなくてはいけないなという気がします。

○次長 現在のところの状況をお話しますと、例えば中之町は3歳25、4歳5歳が25名なんです。4歳で入れる人数を5名としています。これを25名にしてしまうと単学級3カ年の幼稚園です。4歳のときに入れなくなってしまうという部分があります。たまたま中之町については1名転出みたいな形でおさまるのかなと予想しています。それからにじのはしについては、平成19年にたしか3歳児を開始したと思うのですけれども、そのときの定員が15名。非常に応募が多いということで20に20年度から変えた。今、私立と協議しているのですが、先方の言い方をすれば舌の根も乾かないうちに何人かふやすというのはなんだと言っている話です。だから、1名2名というのを無理してお願いというような形になれば、お願いした分、では何をしてくれるのかみたいな話が出ています。

それから、白金台については3倍近い応募がありますので、これはなんとかできないかということで協議中ですが、20名という定員で合意をしたのに、いきなり最初から定員を変えるのは妙なことであるとか、これによって私立の応募が減っているという主張が今来ています。そういうことはないという反論をしていますけれども、先方の私立の主張は白金台が3歳児を始めたことによって、我が園に相当影響が出ているというようなことを言っている私立があります。したがって、ことほど左様に簡単では通りません。ただ、今は一応30名は無理にしても25名ぐらいまでの定員増にできないかということで私立と協議中です。これはなんとかいけるかなと思っています

けれども、なにせ審議会にも諮らないで、この間区は定員の拡大をやっているではないかみたいな話は相変わらず私立側からみられています。

主な交渉状況は以上です。

○小島委員 次長のいろいろなご努力はよく理解できるので、これ以上なかなか言えない面もあるので……。

○澤委員長 そういう意味では大きな進展で、白金台、中之町それから港南です。ただ、確かに区の教育委員会として幼稚園に対してやるべきことは、4歳児をふやすということは限界に来ているのではないということです。だから区立幼稚園の園児をふやすんだったら3年保育をふやすしか、しかというかそれが一番正論なのではないかと。ただ、次長がいろいろ苦勞されているように今後とも私立さんとの協議が大事になってくるわけです。

○半田委員 やはりお母様と子どもが2人きりで赤ちゃんのときから3歳4歳までいるというのは限界がありまして、やはり社会とのかかわりを持ちたいというお気持ちは実際あると思うんです。兄弟が多かったりおばあちゃまがいればまた広がるんですが、やっぱりお家の中で母親と子どもだけが2人だけで0歳、1歳、2歳、3歳、4歳までというのはなかなか待ちづらい状況というのは実際あると思うんです。ですから、3歳から幼稚園に入りたい、もしくは保育園に入りたいと考えるのは自然な考え方かなという今の状況を考えられるのですが、ですから、本当に3歳児から入れる幼稚園があるとそういった意味では大変芽生える時期にいい影響があるのではないかなと思いますし、ちなみに私の娘が行っていた幼稚園は縦割りだったんです。それで3年保育ですので、お兄ちゃんやお姉ちゃんがいる状況から入り、また兄弟がいなくても上級生になれば下の子の面倒を見るというか、そういう社会性が大変身につきましたので、そういうのも子どもたちにいい影響があればいいなと考えて、そう考えているお母様方も非常に多いのが現状ではないかと思っております。

○小島委員 次長をバックアップするためには当委員会で、3年保育についていろいろ発言をしないといけないという思いがありますが、ただ、非常につらいお立場であることはよくわかるので。

○澤委員長 確かに一步一步やっていくしかないんだろうと思います。

○小島委員 芝浦、港南で定員が50名のところ、芝浦が25名、港南が36名ということなのですけれども、今後はどうなんですか。地域のマンションの建設状況、その他から希望人数はふえていくのではないのでしょうか。

○学務課長 芝浦はアイランドにあるこども園の抽せんを併願できないようになっておりますので、こども園の方も抽せんになっておりまして、抽せんに漏れた方が数名今いらしているので、何人かプラスになっているようでございます。港南の方は今中学校の前にマンションが建っております。それが11月から入居が始まっているんですけども、入居自体は来年3月ぐらいまであります。どうやら小学生よりも未就学児の人数の方が多い状況にあるようなので、そこら辺が多少幼稚園の方にあるのではないかなと思っておりますが、保育園か幼稚園か、保育園はもうあきがない状況ですから、どういうふうに出てくるかみえない状況にあります。

○小島委員 この定員50名というのは50名までいつでもオーケーですよという趣旨ですか。

○学務課長 そうです。

○澤委員長 ほかに何かありますか。

○教育長 今質問しようかと思ったのは、これは26日から28日の入園の願書受付の間の人数なので、今学務課長が話をしたようにここからの増減というのがいくつかあるのだろうと思うんですけども、その辺で何か顕著なものというのはどこにありますか。

○学務課長 まだ正確な数字を把握していないので、また状況を確認したらご報告するようにします。

○教育長 それは幼稚園がつかんでいるということですか。それとも学務課に報告が上がっていないということですか。

○学務課長 受付は全て幼稚園でやりますので、幼稚園の方からうちの方が情報をきちんと集めずに、統計し切れていないので。

○教育長 要は集計していないということですね。わかりました。また、そういう動きがきっとあると思うので、今の話だけ。

○澤委員長 ほかによろしゅうございますか。

それでは、園児募集結果についてはありがとうございました。

2 社会教育委員の委嘱について

○澤委員長 2番目、社会教育委員の委嘱につきまして、生涯学習推進課長、よろしくお願いいたします。

○生涯学習推進課長 それでは資料番号2をご覧ください。港区社会教育委員についてのご報告です。前は家庭教育を充実する方策についての諮問事項の決定をいたしました。本日はそれぞれの教育委員会委嘱委員について名簿を調整して上げてございます。まず任期でございますけれども、平成20年12月1日から平成22年11月30日までの2年間でございます。区分としまして学識経験者区分、社会教育関係者区分、それから学校教育関係者区分ということで論議をしてございます。まず学識経験者枠から小池茂子委員です。こちらは聖学院大学の人間福祉学部児童学科の准教授です。ほかにいろいろ埼玉県の社会教育委員の役職を別に持っていらっしゃるしまして、それから日本生涯教育学会の常任理事、あるいは台東区、荒川区で生涯学習計画の委員として携わっておられる先生でいらっしゃいます。続きまして大場伸さん。こちらは東京都児童相談センターの相談処遇課の課長補佐でいらっしゃいます。兼務で児童福祉第三係長ということで、こちらは千代田区、中央区、港区のブロックの担当の係長です。実務に通じた方でいらっしゃいます。

それから社会教育関係者として、それぞれ用紙順に各PTA代表、青島委員、菅原委員、高橋委員という形で入っております。青島恵さんは芝浦幼稚園の会長でいらっしゃいます。菅原義明さんは本村小学校の会長を務めていらっしゃいます。高橋里衣さんは朝日中学校のPTA会長でいらっしゃいます。それぞれ連合会の役職を持っている方です。それから綱川智久さんは青少年委員会副会長ということで、PTAの役員から青少年委員会の副会長ということで、青少年委員の方から推薦を受けてやっていらっしゃいます。池田由記さん、こちらは子育てひろば「あい・ぽーと」副施設長ということで、保育士として勤務された経験がおありになりますので実際の実務的な話を

聞けるかと思います。

それから学校関係者として幼小中それぞれの校長会・園長会から推薦をいただきました3人の方です。

以上でございます。

○澤委員長 社会教育委員の委嘱、各委員の説明がございましたけれども、何かございますか。

○小島委員 小池茂子先生は人間福祉学部何学科と言いましたか。

○生涯学習推進課長 人間福祉学部児童学科でございます。

○小島委員 社会教育委員は他でもでなさっているんですね。

○生涯学習推進課長 社会教育委員は現在埼玉県教育委員会になります。

○小島委員 ショウガイ何と言いましたか。

○生涯学習推進課長 日本生涯教育学会です。

○小島委員 ショウガイはどのような字を書くショウガイですか。生涯学習の「生涯」ですか。

そうすると、そういう面でベテランの方ということですね。

それから、児童相談センターの相談処遇課というのは実際どのようなことをやっているのですか。

○生涯学習推進課長 児童相談センターではそれぞれ非行相談とか、育成相談、その他の知的障害児の相談及び各種そういった相談業務がございます。養護相談、虐待の相談、そういった案件について実際に実務に携わっております。

○小島委員 子育てひろば「あい・ぽーと」はどのようなことをやっているのですか。

○生涯学習推進課長 こちらではお子さんを一時お預かりする、子育てサポート事業を行っているところです。

○小島委員 だれを預かるのですか。

○生涯学習推進課長 主に小学校就学前のお子さんをお預かりしたりというようなことをやっております。

○南條委員 これは浜松町の方ですか。違いますか。

○生涯学習推進課長 こちらは青山小学校の前の旧青葉幼稚園で行っています。

○教育長 青山小学校のすぐその隣にあった青葉幼稚園、あそこの施設を使ってやっております。それからただの預かりだけではなくて、お母さんたちも一緒に来ているいろいろな子育てひろばみたいなものをしていたり、相談業務をしたりしているものです。

○小島委員 今回の諮問は家庭教育でしたよね。それにねらいを絞ってということで。

○生涯学習推進課長 委員おっしゃるとおりそちらの家庭教育を充実することについてエキスパートの方を集めています。専門的な意見を中心にこちらの方でご報告を出してもらいます。

○半田委員 ここで皆さんで何かなさったことをどのような形で反映というか、我々等に知らせていただけるのでしょうか。

○生涯学習推進課長 社会教育委員の会の中で議論いただいた内容について、前回ですと中間報告というようなことでまとまったところでご報告させていただいてはいるのですが、その都度書面に基づく部分についてご報告をしていきたいと考えています。あと、報告書ができた段階ではそれぞ

れのPTAが集まったところでご報告をさせていただくことを考えております。

○半田委員 書面とその口頭で事務局に報告がいくということで……。

○澤委員長 確かに半田委員が言われているようにこの社会教育委員の方々にご検討いただいた報告書を待たせていただく、諮問を出していただくにしても、それはどのように活用するかということが、前に南條委員も言われていたように重要なので、佐藤課長、活用の方法は具体的にご検討いただきたいなと思います。

○生涯学習推進課長 委員長おっしゃるとおり、よい報告書を作成し実践的な部分があればいろいろなところで報告をして、ご活用いただくようにしていければと思っております。

○澤委員長 PTA連合会の方々もいるようだからPTA連合会も巻き込んでと言ったらおかしいですけれども、協力していただいて。

○半田委員 メンバーが強力なメンバーです。

○澤委員長 あとよろしゅうございますか。それではありがとうございました。

3 生涯学習推進課の11月事業実績と12月事業予定について

4 生涯学習推進課の各事業別利用状況について

○澤委員長 では、3番目、生涯学習推進課の11月事業実績と12月事業予定でございますけれども、資料の配布をもって報告とさせていただきたいと思っておりますけれども、特に何か、佐藤課長、よろしゅうございますか。何かございますか。

○教育長 ちょっと迷っていたんですけれども、放課GO→のことなんですけれども、すごくたくさん平日なんか参加してくれていて、充実していると思うんですけれども、例えば土曜日に開いていても参加がないところとか、あるいは平均して1コンマ何人とか、来ていても、遊んでいてもこれおもしろくないのかな、そのぐらいの人数だと逆に。そんなところで生涯学習推進課の方には何か話がありますか。例えば、神応は10月11月のところ平均ゼロなんです。御成門も6月から開いているけれども、8月0.4、10月1.8人となっていてあまり集まっていないんです。集まっているところは結構集まっていますけれども。この辺は何か生涯学習推進課でも何か考えているのか。

○生涯学習推進課長 放課GO→しんのうにつきましては、土曜日の利用については、学童に登録している児童なんですが、今登録学童はゼロなんです。利用がないのでゼロという数字。

○教育長 では、それで開設をしているのですか。

○生涯学習推進課長 今は利用がないのでしていません。

○教育長 していないんだったらゼロと書かないで、これは利用がないととられてしまうのでバーなんかにするとか、斜線はおかしいかもしれないけれども、横バーにするとか、何かそういうふうにししないと誤解を与えるので。

○澤委員長 土曜日はそれぞれ随分差があるんですね、場所によって。

○生涯学習推進課長 やはり児童館の方に登録されている、二重登録ができない形になってございますので、今のところ年度途中で開設した放課GO→さんこうもそうですが、放課GO→おなりも

んも年度途中でしたので、今のところ様子を見ていらっしゃる親御さんが多いので、来年4月にはこちらの方に流れてくるとお聞きしております。

○小島委員 生涯学習推進課長から学童保育という言葉が出ましたが、放課GO→と学童保育はわかったようでわからないのですが、ダブっているのですか。

○生涯学習推進課長 学童クラブというのはおおむね10歳未満、児童福祉法の規定の中で、就労している親御さん、そういう要件のお子さんに生活の場としての登録になりますので、放課GO→の全児童対象と分けてご用意させてもらっています。ですから、生活の場ということですので、平日の開催は6時あるいは6時30分ぐらいまでのその時間帯を、児童館でやっている学童クラブに水準をあわせていくような形での運営になっています。

○澤委員長 生涯学習推進課の11月事業実績と12月事業予定並びに各事業状況につきましても教育長等から質問をもらいました。それを含めてよろしゅうございますか。

それでは、ありがとうございます。

5 図書館・郷土資料館の11月行事実績と12月行事予定について

○澤委員長 続きまして、資料ナンバーは5となりますけれども、図書館・郷土資料館の11月行事実績と12月行事予定について、この件につきましても資料の配布をもって報告とさせていただきますけれども、森課長、何かほかにご説明ございますか。

○図書・文化財課長 今回、資料の方で若干図書の資料数が総体で減った形をとっている館がございます。たまたま本の購入はしているんですけれども、登録といいますか貸し出しの準備がまだ整わなかったのが、若干除籍をする方が先にデータ上出てしまいましたので、本を新しく買いかえるときには本をある程度処分してからではないと当然新しいものが入りませんので、そのタイムラグで少し本が減った館がございます。港南図書館です。

大体、今ここでご覧いただくとわかると思うのですが、83万7,000～83万8,000ぐらいを港区の全体の図書館で数字が動いておりまして、大体、今これが限界数かなと。そういう状況で図書館は運営されているということです。

以上です。

○澤委員長 限界というのはスペースの関係とかそういうことですか。

○図書・文化財課長 そうです。

○澤委員長 特に何かご質問等ございますか。図書館は私の地域での経験でも随分利用されています。

よろしゅうございますか。

6 12月指導室事業予定について

○澤委員長 それでは、資料ナンバー6、12月指導室事業予定について。これも資料の配布をもって報告とさせていただきますけれども、加藤指導室長、特に何かございますか。

○指導室長 1点だけ。来週月曜日、15日でございますが、港区教育推進月間事業としまして港

区子どもサミットということで、お手元の資料の下から２段目のところにあるような会を行います。テーマは「語り合おう！私たちの思いや願い」ということで、教育委員の先生方には四つの分科会、フォーラムに分かれまして、各分科会からそれぞれ取組報告がありますので、その報告に基づいて子どもたちが自ら協議を行って、あるいは大人への質問等もあるかと思います。そこでご意見やそれに受け答えをできる範囲の中でご参加いただきたいと思います。詳細はまたこの会が終わりましたらご案内させていただきたいと思います。なお、２時から４時３０分ということで、よろしくお願いしたいと思います。

以上です。

○澤委員長 来週月曜日の港区子どもサミット、よろしくお願いいたします。ほかに何かご質問等。

○教育長 今、社会教育委員の推薦のお話がありましたけれども、１日、スクールカウンセラー連絡会、３時からこの講師は大場さんです。そういう意味で実践的な研究というか、要約というか、スクールカウンセラー連絡会です。

○小島委員 今日の朝１０時から教育センターで「社会が求める学校教育の在り方」、非常に興味深い内容なのですが、主にどのような点のご説明があるのでしょうか。

○指導室長 具体的にはまだ報告を受けておりませんが、私塾の、実際には学習塾を経営されている方ですが、学校教育に関して大変造詣の深い方でして、経済同友会からご紹介いただいた方でございます。全国的にも活動を行い、実際には栃木の方で社会教育委員をおやりになったり、それから大学の工学研究科の客員教授をおやりになったりしている方です。

○教育長 教育経営協議会について少しご説明をしてください。

○指導室長 基本的なところは、学校長が管理職としての研究をする会で、今回は学校経営の人材育成というテーマで校長先生方が講師を招いてそこで学ぶという会でございます。

○澤委員長 なかなかおもしろい視点から講師の先生をお呼びしたんですね。

ほかに何かございますか。よろしゅうございますか。

「閉会」

○澤委員長 それでは、予定いたしました案件、報告は以上でございます。山本参事、ほかに何か、特にございませんか。もし、今日の見学で何かあれば。

○小島委員 白金台幼稚園は、すばらしいの一語に尽きます。白金の森に囲まれて、あきる野の、みなと区民の森からの間伐材を使った園舎を見学したら、白金台の応募者はさらにふえるのでは。

○澤委員長 間伐材というのは別に経費節減になるわけではないのですか。

○学校施設計画担当課長 カーボンオフセットという事業を港区がやっています、港区で発生する二酸化炭素をある程度減らせないものですから、逆に吸収するものを。

○澤委員長 なるほど。それでプラスマイナスゼロになっていく。

○学校施設計画担当課長 その一つの方策として、生きていない針葉樹林というのは二酸化炭素をあまり吸収しないのでカウントされないんです。それを生きているというか、きちんと林業を、作業をしている、手入れをしている山とすることで二酸化炭素の吸収量がかなり上がる。３０％から

40%違うと言っています。その一環として間引きをする、間伐をする。その材料がそのままほうっておくとチップになって、燃料になってしまうということです。それを再利用してある程度内装材として使っている。ただ、20ヘクタールぐらいしかないものですから、次の港南やらほかでやろうとしたら、それははげ山になってしまいますので。

○教育長 間伐材といってもこんな細いのではないのね。立派な木なんですけれども、ただ密集しているから下草も生えない。だから間引いて、ある程度広くなったらそこに今度は広葉樹を植えて、山をしっかりと根をはわせて、広葉樹と針葉樹をまぜないといけない。針葉樹だけを植えてしまうので、下が弱くなって、だから大雨が降ると崩れていってしまいます。

○澤委員長 それでは、閉会といたします。来年1月5日が御用始めということで、教育委員会の皆様にもお集まりいただくように区長の方から案内があり、今日いろいろ日程表が入っていると思いますので、よろしくお願いいたします。それで、次回の教育委員会は来年1月13日（火）午後3時からの予定です。よろしくお願いいたします。

それでは、どうもありがとうございました。

（午後5時04分）

会議録署名人

港区教育委員会委員長 澤 孝一郎

港区教育委員会委員 小島 洋祐